

都市再生整備計画 事後評価シート

下東条地区

平成27年3月

兵庫県小野市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名		小野市		地区名		下東条地区			面積	868ha	
交付期間	平成24年度～26年度		事後評価実施時期		平成26年度		交付対象事業費		140	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道215号線)、高次都市施設(観光交流センター)											
		提案事業	なし											
				事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	なし				—			—				
		提案事業	なし				—			—				
	新たに追加し た事業	基幹事業	地域生活基盤施設(情報板)、高質空間形成施設(交流施設エントランス修景整備)				・観光交流センター利用者の施設への誘導と利便性向上を図るため、観光案内板及び案内標識を追加 ・観光交流センター利用者の快適性向上を図るため、隣接する既存施設との共有エントランス部の修景整備(土風舗装)等を追加			目標、指標に関係するが、数値目標は据え置く。				
		提案事業	地域創造支援事業(交流施設エントランス等修景整備)				・観光交流センターの整備に合わせ、施設利用者の快適性向上を図るため、隣接する既存施設との共有エントランス部の修景整備(電線地中化)等を追加			目標、指標に関係するが、数値目標は据え置く。				
	交付期間 の変更	当 初	—		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響									
		変 更	—											
	2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値 基準年度		目標値 目標年度		数 値 モニタリング 評価値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
指標1		道路利用者の満足度	%	7	23	50	26		73	○	あり なし	県道神戸加東線バイパスからの車道新設及び既存道路の車道拡幅等により、利用者の利便性・安全性などが向上し、満足度が向上した。	—	
指標2		交流人口	人/年	38,700	23	48,000	26		55,000	○	あり なし	下東条地区の地域交流拠点である「コミセン下東条」の周辺及び「観光交流センター」を一体的に整備することにより、新たな憩いの場が創出され、交流人口が増加した。	平成27年4月	
指標3											あり なし			
指標4											あり なし			
指標5											あり なし			
3)目標を定量化する指標の 目標値設定の考え方		・道路利用者の満足度・・・概ね利用者の半数以上が満足する環境を目標値とした。 ・施設の利用者数等・・・施設新設による既存施設の利用者数増などの相乗効果を見込み、目標値とした。												
4)定性的な効果 発現状況														
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加 プロセス		下東条地区地域づくり協議会や味彩会の活動				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域のことは地域で考えて実施することを基本的な考え方として、事業計画時及び事業実施時に下東条地区地域づくり協議会等と市が連携をとり、事業を行っていく。			
	持続的なまちづくり 体制の構築		下東条地区地域づくり協議会や味彩会の活動支援				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 下東条地区地域づくり協議会や味彩会の活動を中心に、地域住民主体の活動を継続する。市は引き続き、活動に対し、後方支援を行っていく。			

様式2-2 地区の概要

下東条地区（兵庫県小野市） 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
自然を活かした「コミュニティセンター下東条」周辺の環境整備により、魅力ある空間を創出し、地域住民の生きがいづくりや地域交流の活性化を図る 目標①：地域の交流拠点である「コミセン下東条」周辺の交通環境を改善し、地域住民・来訪者の快適性向上を図る。 目標②：「コミセン下東条」周辺において、新たな交流拠点である「観光交流センター」を整備し、地域住民の生きがいづくりや地域交流の活性化を図る。		道路利用者の満足度	単位：％	7 H23		50 H26		73 H26	
		交流人口	単位：人/年	38,700 H23		48,000 H26		55,000 H26	
 観光交流センター									